

今後の連携に向けた情報共有について

令和7年8月27日（水）
静岡県健康増進計画推進協議会

1

■ 静岡県の健康寿命



○ 令和4年 都道府県別健康寿命において、男女ともに全国1位。

	男性		女性	
		前回		前回
1位	静岡県 73.75歳	5位 73.45歳	静岡県 76.68歳	5位 76.58歳
2位	石川県 73.60歳	12位 73.08歳	山口県 76.43歳	32位 75.33歳
3位	山梨県 73.47歳	2位 73.57歳	岐阜県 76.20歳	11位 76.18歳
4位	群馬県 73.37歳	6位 73.41歳	山梨県 76.16歳	2位 76.74歳
5位	神奈川県 73.28歳	11位 73.15歳	宮崎県 76.13歳	3位 76.71歳

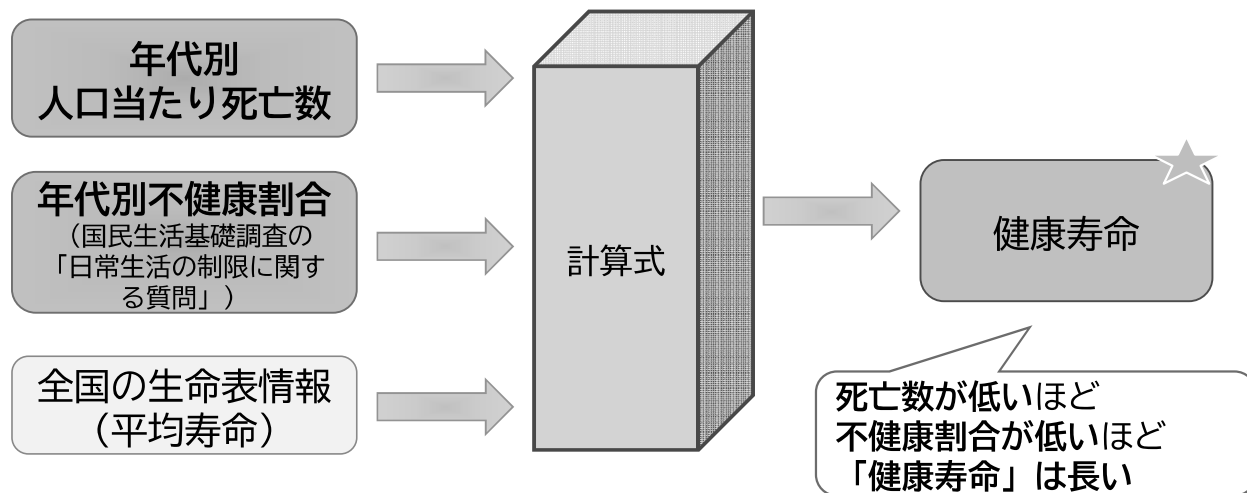
R6.12 厚生労働省公表値
「健康寿命」...0歳から健康上の問題で日常生活に影響がない期間の平均

2

健康寿命の算出方法

○ 健康寿命は、年代別「死亡率」と「不健康割合」から算出

「死亡率」と「不健康割合」から算出



国民生活基礎調査（健康票）

Q あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。
はい（不健康） ・ いいえ（健康）

3

静岡県の健康寿命（分析結果）

○ 本県の「健康度」は全国一の水準。「長寿度（死亡の少なさ）」は全国並み。

令和4年 男性の健康度・長寿度

順位	健康度 (健康状況)	長寿度 (死亡状況)
1	静岡県	滋賀県
2	群馬県	長野県
3	栃木県	奈良県
4	鹿児島県	石川県
5	北海道	山梨県
...	...	...
15	...	静岡県

令和4年 女性の健康度・長寿度

順位	健康度 (健康状況)	長寿度 (死亡状況)
1	静岡県	滋賀県
2	山口県	島根県
3	山梨県	神奈川県
4	宮崎県	兵庫県
5	岐阜県	広島県
...	...	...
30	...	静岡県

R6.12 厚生労働省公表値に基づく 静岡県独自試算

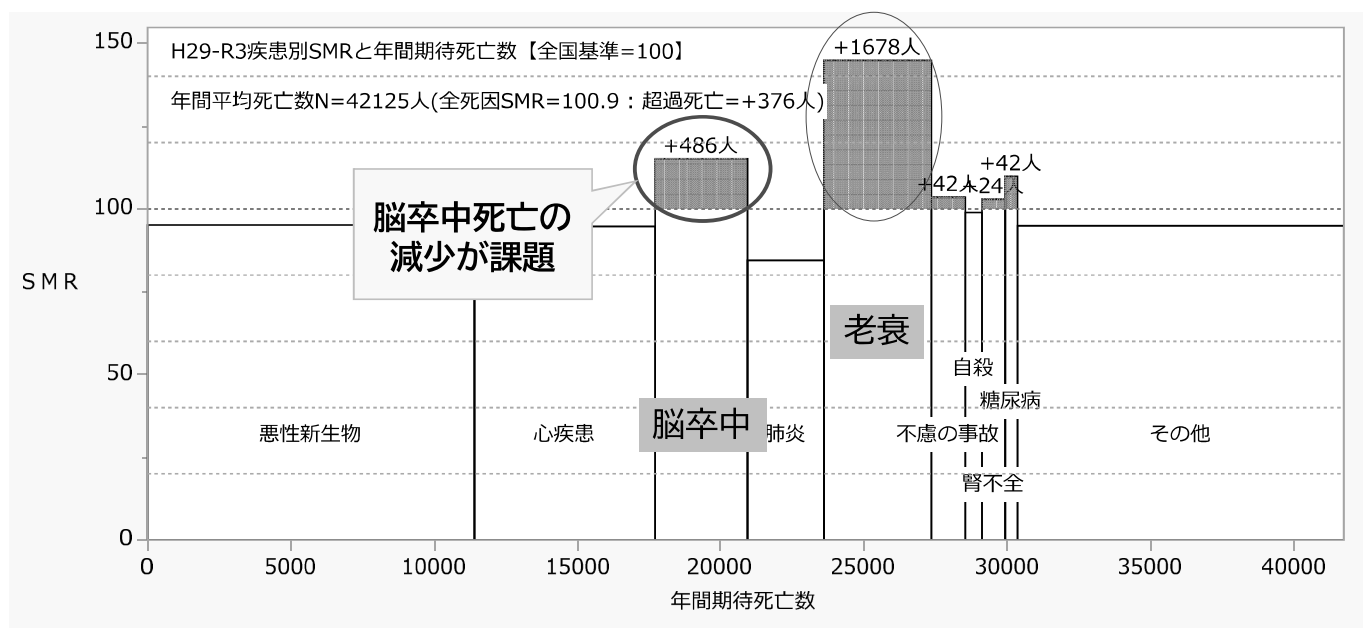
伸びしろは
死亡率の減少

伸びしろは
死亡率の減少

4

■ 本県の健康課題

- 本県は、全国に比べて老衰、脳血管疾患（脳卒中）による死亡が多い。
→ 健康寿命を伸ばす上では 脳卒中による死亡の減少が課題

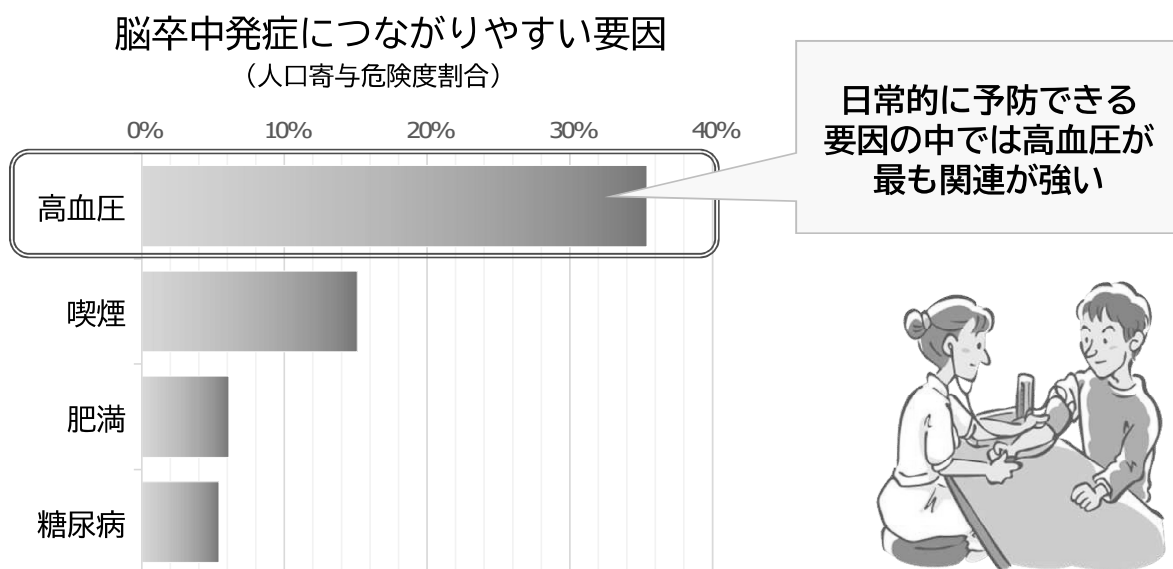


静岡県市町別指標：H29-R3静岡県SMR（全国基準）

5

■ 計画期間と中間見直し

- 日常の生活習慣の中で、脳卒中のリスク要因である「高血圧」に着目。

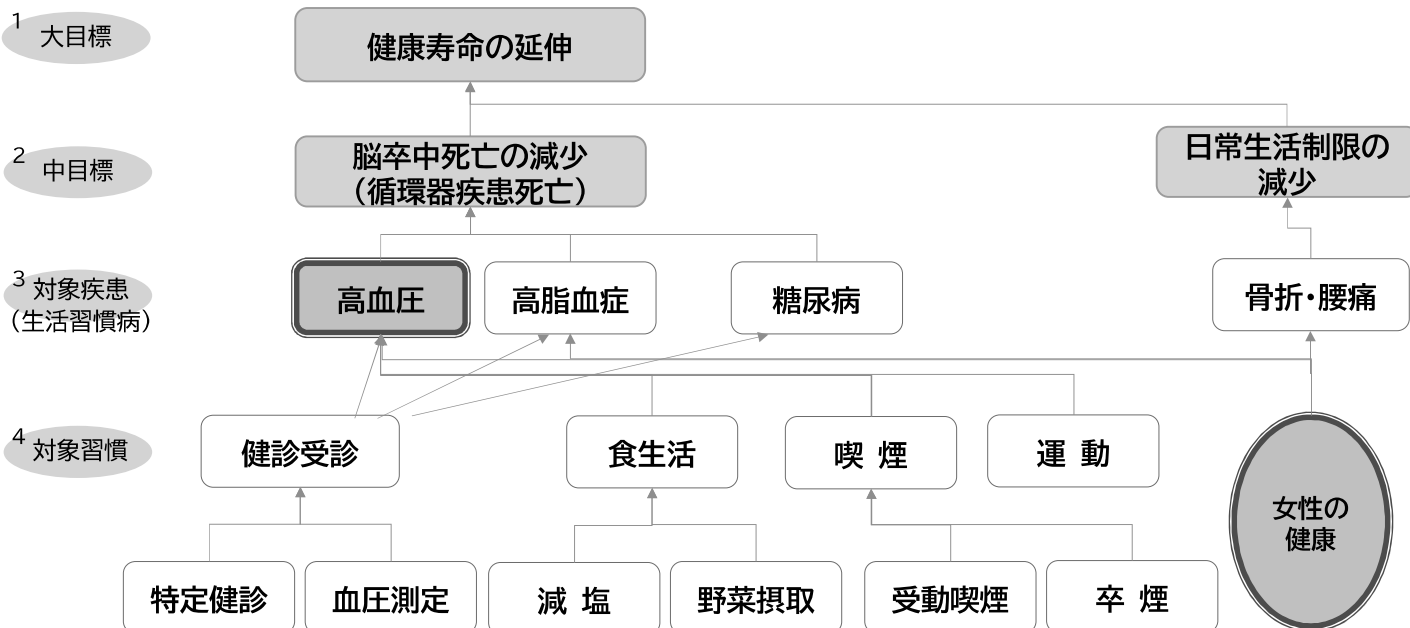


国立がん研究センター 多目的コホート研究（JPHC Study）
<https://epi.ncc.go.jp/jphc/outcome/3284.html>

6

■ 今後の取組の方向性

○ 健康寿命の更なる延伸を図るため、高血圧、女性の健康に着目した取組を推進

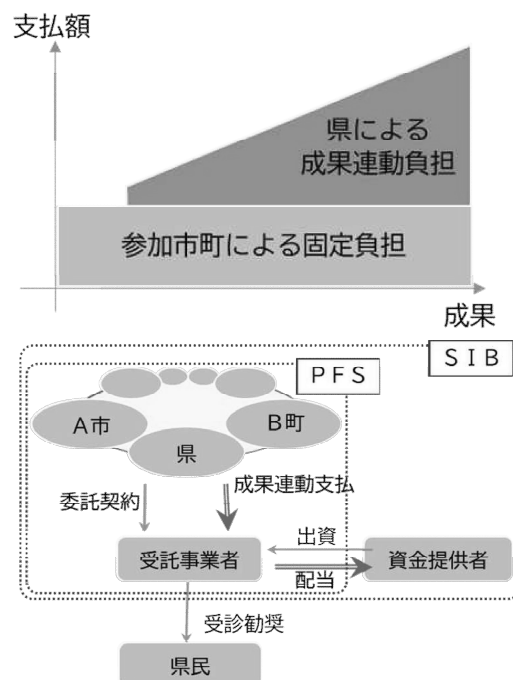


7

■ 今後の取組（例）

○ 成果連動型契約方式（P F S）による 特定健診受診率向上モデル事業の実施

- ・ 近年、委託者に業務内容を委ね
成果により報酬を支払う「成果連動型契約方式（P F S：Pay For Success）」による事業実施が、新たな行政手法として注目を集める。
- ・ 特定健診受診率の向上を図るために、市町と共同で実施するP F S事業のモデル実施を検討中。
（選考例：広島県、富山県）
- ・ R 7年度は、参加市町とともに契約条件の設計について検討中。事業実施は、R 8～10年度を予定。



連携いただきたい点

- ・ モデル市町の参画
- ・ モデル事業により得られたノウハウの 受診率向上の取組への活用

8

■ 今後の取組（例）

○ 企業連携によるミドルエイジ女性の健康課題支援プロジェクト

- ・ 40代・50代の女性ホルモン分泌低下の影響を受けやすい世代（ミドルエイジ）の女性に対し閉経前の段階から生活習慣の見直し、特定健診や骨粗鬆症検診等の健診（検診）受診を促す必要あり。
- ・ 令和7年度は、民間企業やマスコミ関係者、関係団体、学識経験者等から構成するタスクフォースを設置。ミドルエイジの無関心な女性に対して、健康課題に関する情報を効果的に届ける手法について、実証事業及び評価方法の戦略を検討。



R 7	R 8	R 9	R 10
・タスクフォースの設置 （手法検討）	（実証事業）	（成果検証）	（社会実装）

連携いただきたい点

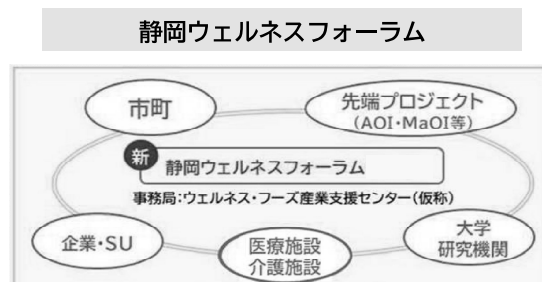
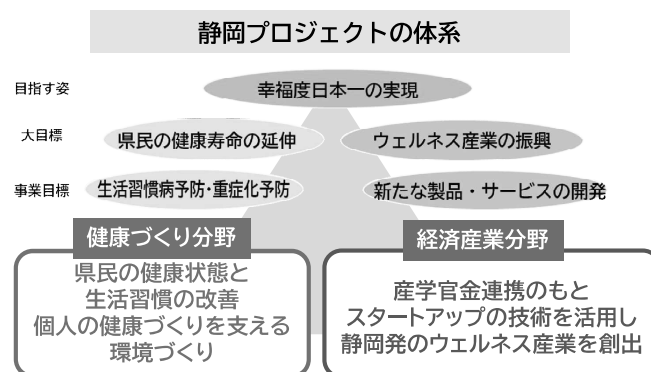
- ・ 企業、事業所における女性の健康づくりに関する理解の促進
- ・ 対象年代の女性に対する啓発への協力

9

■ 今後の取組（例）

○ 産業×健康で進める「静岡ウェルネスプロジェクト」

- ・ 県民の健康寿命の延伸を目指す健康づくり施策と、食品・健康産業の振興を目指すフーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクトを再構築し、令和7年度から「静岡ウェルネスプロジェクト」を推進。
- ・ 令和7年4月に、静岡ウェルネスプロジェクトの連携プラットフォームとして「静岡ウェルネスフォーラム」を設置。
- ・ 静岡社会健康医学大学院大学や、フォーラム登録企業等のノウハウを活用し新たな視点による健康課題の解決を図る。



連携いただきたい点

- ・ 静岡ウェルネスフォーラムへの参画（登録）
- ・ マッチングの機会や実証フィールドの提供

10